令和元(平成31)年度 事業計画書

平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 ピアサポートネットしぶや

1 事業実施の方針

基軸である自立応援プログラムの充実をはかり、以下の点を大切にし、事業を行う。

- 個別対応・・・本人だけではなく、ご家族とも1対1で、じっくりとかかわります。
- 仲間づくり・・・安心して頼れる相手をゆっくりと見つけましょう。
- やる気・・・自分のどこかにあります。一緒に探しましょう。

(1) 事業

- ①自立応援プログラム
- ・対象者の年齢構成への対応 (プアサポーター)、経験を通じたピアサポーターの身近な相談役 (ピアスタッフ) の人材育成と確保
- ・ひきこもり状態にある女子のへの支援
- ・精神疾患や発達障害等に関する理解と対応
- ・ひきこもり期間の長期化と高齢化した本人とその家族への対応

②被災地支援

・岩手県大槌町で実施した地域貢献活動や地域交流などを発信し、地元とつなげる

(2)組織体制

- ピアサポーター育成と人材確保
- ・2020年開催のオリンピック・パラリンピック東京大会を活用し、ピアサポート活動の普及の契機とする

(3) 財政基盤

自立応援プログラムを通じて、活動の理解を促し、資金的な協力を求める

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名		業		実予日	施定時	場	施定所	従事者 の予定 人 数	受益対象者 の範囲及び 予 定 人 数	事業費の 予定額 (千円)
生をどと及を対事さ感もそび持す業らる若家わ者相	として、 する。 ①事前相 ②個別相 ③家族セ	専門談談	相談	 	-18:00	①事務 ②事務 ③都内	所	②2名 ③2名	概ね1550の1550の円間 では、150の円間 でででは、150の円間 でででは、150の円間 でででは、150のの円間 でできる。 とて、150の円間 できる。 とで、150の円間 できる。 とで、150の円間 できる。 とで、150の円間 できる。 とで、150の円間 できる。 とで、150の円間 できる。 とび、150の円間 できる。 といいる。 といい。 といい	

自宅以外の 居場所の提 供事業	①フリーティス ②居場所・フリースペース ③夜の居場所	科週1回 90分 ②月曜日を除 く平日204日	②事務所 ③公共施設4 ヵ所、老人ホ ーム,自営飲 食店(計6ヵ 所)	②10名 ③5名	当法人と契約を表した概ね15 歳~50歳ん (2) 15 名名名 (3) 41 0~18 (3) 最までの (3) はいでの (4) はいている (5) はいいっと (5	
きのる若家問りにもその・りにもその・数にもその・の訪支		間 ②平日1~2時 間 ②月1回	公共機関、喫	②3名 ③2名	当法人と契約 をした概ね15 歳〜50歳代ま での家族 ①15名②5名 ③50名	
を含む就労 に向けた準 備支援事業	①協力・受入企業等との連携のもと、社会参加ボランティア活動や就労に向けた研修、職場訓練をサポートする。	施 ②1回(2泊3	比寿東公園、	4名	①当法人と契 約をした概ね 15歳〜50歳前 半までの本人 10名	
	高卒認定や大卒の資格習得 など、学び直しをサポート する。		事務所		当法人と契約 をした概ね15 歳~50代まで の本人5名	
青少年に関す る諸問題の調 査・研究事業	1,000	平日	事務所等		・困難を抱着を をもると・者の をもまた をもまな を を を を を を を を を を を を を を は に に に に に	100
	講演会やセミナーに講師を 派遣し、普及啓発活動を行 う。	随時	各講演会、セ ミナー等の会 場		学校、青少年 育成関係者、 支援者研究者 等50名。	240
	内閣府アウトリーチ研修実 地研修の実施		事務所、原宿 ファンイン、家庭 訪問		青少年育成関 係者、支援者 5名	47
援法に基づく	事業実施に向けて、地域生活への移行に向けた相談、 関係機関等との連携等を行 う。	平日	事務所		障害者支援施設、精神科病院、児童福祉施設を利用する18歳以上10名	50
援法に基づく 障害福祉サー	事業実施に向けて、一般企 業等に困難な人に、働く場 を提供するとともに、必要 な訓練を行う。	平日	事務所等	2名	当法人にかか わる本人で手 帳を有する者 10名	50

その他目的をなし 達成するため に必要な事業	,								O
(2) その他の事業									
事業名	3	事	業	内	容	実 施 定 時	実 施 定 場 所	従事者 の予定 人 数	事業費の 予定額 (千円)
物品販売	なし								